

「寒菊や 人に見られて美しい 人の心もまた同じなり」・・・(農夫人)

○15日(火)、文化祭の代休後の最初の日、冬が近付いて来るのを感じさせる一番の寒い朝でした。文化祭は大成功に終わったようで、生徒たちは気持ちを切り替えて、授業に臨んでいるようです。2学期の大きな行事が終了し、それぞれの学年が充実感を感じていると思います。今度は、充実感を勉学の面においても感じることができるよう、「授業第一」で、頑張っていってほしいです。
☆1階西側の男子トイレに、爽やかで心の和む菊の花が飾られ、短歌も添えられていました。この短歌のような心を持って、トイレをいつもきれいに使ってほしいです。



内定後の生徒の様子や今後のことについて話すために、企業の方が来校されました。

○就職内定した生徒が、どのような学校で過ごし、内定後も頑張っているか、就職に関して不安はないかを確認めに、企業からの訪問がありました。企業にとって生徒一人を雇用するということは、大変なことで、就職後、一日も早く一人前になり活躍することを期待しています。今回の生徒は、内定後もさらに企業にとって必要とされる人材になろうと意欲的に頑張っており、就職に不安はないことを確認され、安心しておられました。就職する日までに、取り組んでおいてほしいことを提示してくださいとお願いしました。就職するまでの残り少ない時間を大切にしていってほしいものです。

○15日(火)午後、宮崎地区の中高合同数学教育研究会が、宮崎北高校でありました。そのときに気付いたことをいくつか紹介します。本校の参考になることもあるのではないのでしょうか。

- ・中庭の石庭が、京都の竜安寺の石庭のようでした。毎日、維持管理をしっかりとっているのでしょう。
- ・中庭から見える向こうの校舎の窓に「センター試験まで、あと61日」の掲示。3年生を応援。
- ・数学の授業が、生徒と対話し、考えさせようとする授業で、みんな集中して取り組んでいました。



中庭 石庭がきれいでした。



整理された廊下のロッカー



対話しながらの数学の授業

少しでも高いレベルを目指して、授業を行なってほしい。・・・授業改善への要望

○16日(水)午後、県教育委員会から3名が来校され、校長の中間ミーティングが行なわれました。本年度の本校の4つの重点目標にそって、先生方がいかに一生懸命取り組んでいるかを話しました。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| (1) 基礎学力の定着と進路保障 | (2) 品性を磨き、充実した高校生活を送る生徒の育成 |
| (3) 教育・職場環境の整備 | (4) 地域に活力を与え、信頼される学校の確立 |

感想の中で、「秀峰ブランドの確立」、「地域に根差した学校づくり」、「地域への貢献」に努力していることが評価されました。要望として、「学校が楽しいということは、授業が分かるということであり、授業改善にさらに頑張してほしい」、「服務規律の遵守を徹底してほしい」があげられました。先生方も役割達成度や職務行動の自己評価を行なう時期が近付きました。これまでの取組をしっかり反省し、さらにレベルアップを図るいい機会として捉えてほしいと思います。

県高校新人体育大会で、本校生が活躍しています。・・・次は、九州選抜大会を目指して

- ハンドボール<男子>優勝 決勝戦 33-22(日向) <女子>準優勝 決勝戦 19-26(宮崎学園)
- ウェイトリフティング<男子>69 kg級 佐土原(機2)、内嶋(電1)九州選抜大会出場決定
<女子>58 kg級 内門(商1)九州選抜大会出場決定
- 新体操<男子>団体優勝 個人優勝 砂田(電2)

毎朝、散歩のときに、小林秀峰高校の生徒のみなさんが、爽やかなあいさつをしてくれます。

○先週、ある会合で、講演者が冒頭に話されたことです。小林市に7月に赴任され、毎朝、7時から8時の間、約1時間、散歩されるそうです。そのとき、消防署のあたりで、多くの本校生と出会うそうですが、みんながあいさつをしてくれて、とても爽やかな気分になるということで、感心しておられました。その会合の席に、私がいることを知らないで話されたので、秀峰生が本当に素晴らしいという実感をそのまま述べられたのだと思います。生徒たちにも紹介してください。

◆わが国の伝統的な独特の教育の方法として躰がある。躰は裁縫の縫いと同義である。縫い目が狂わないように、まず仮にぎっと縫い付けていくことをいう。そこで本縫いが行なわれ、仕立て上がると、躰糸は抜かれ、何も無かったように見える。◆教育もそうである。一人前に育て上げていくために、まず躰縫いが行なわれる。「おはよう、ありがとう、ごめんなさい」の「あいさつ、謝辞、おわび」はその第一歩である。躰がすっかり身につく、ごく自然に振るまうことができるようになると、躰糸は抜かれ、自分の判断で行動を選択し、世渡りすることになる。

<内外教育11月11日(金)より>



売店で購入した飲み物の紙パック用のゴミ箱に持ち込んだ弁当パックが

(躰のよい) well-behaved, well-mannered (躰の悪い) ill-behaved, ill-mannered

宮崎南高校の創立50周年記念式典が行なわれました。・・・19日(土)午前 宮崎市民文化ホール

○「誇りを胸に はばたけ鵬」のスローガンの下、記念式典が行なわれました。宮崎南高校には「図南飛翔」ということばがあります。鵬が目標・未来に向かって大きくはばたくという意味です。半世紀を迎え、今や「地域に愛され、信頼され、期待される」学校となっています。秀峰が50周年を迎えるのは、2057年です。そのとき、「秀峰ブランド」の下、秀峰が地域に信頼され、大きく貢献する学校となっていてほしいと思いました。在校生は、その礎を築いています。

「目標を立て、歴史を作っている」という意識で、高校生活を送る！



生徒代表誓いのことば

「ダメ。ゼッタイ。」～薬物の乱用をなくそう～・・・インターアクトクラブが秋まつりでパレード

○20日(日)11時30分から、こばやし秋まつりで小林ロータリークラブと一緒に、本校生20数名が「薬物乱用防止」を訴える横断幕を持って行進をしました。また、女子生徒は、笑顔でティッシュ等を市民の方々に配布しました。ボランティア活動の一環で、地域に貢献できました。



横断幕を持つてのパレード



笑顔でティッシュ等を配布



ALTの先生が先頭で御神輿を担ぐ

※こばやし秋まつり・冬まつりの様子は、本校HPに掲載中です。

今年もまた、本校生によるイルミネーションが、小林駅前を飾ります！・・・1月6日(金)まで

○20日(日)夕方6時に、小林駅前で点灯式がありました。自動車部3名を中心にイルミネーションの製作・設置を行ないました。毎年、子どもたちや地域の方々が楽しみにされ、小林の冬の風物詩にもなっています。この1年、自然災害などいろいろなことがあり大変でしたが、寒い冬のひととき、本校生のイルミネーションが心を和ませ、楽しませてくれることでしょう。



イルミネーションの全景



機関車トーマスと記念撮影



天使がみんなを見守っています。